

大分市地域公共交通利便増進事業の変更について

地域公共交通利便増進事業とは、地方公共団体が中心となり、路線ネットワークにとどまらず、運賃やダイヤ等の見直しも含めた利用者の利便の増進に資する取組を通じて、地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保を図る事業のこと。

本協議会では、昨年度より、地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用し、交通事業者間の連携による利便増進事業の可能性について調査・検討を行っているが、今年度実施する委託業務に変更の必要が生じたため、契約変更を行う。

1. 変更理由

令和 6 年度事業では、昨年度の調査結果を踏まえ、鉄道と路線バスにおける事業者間連携の実現に向けて、「大分市地域公共交通利便増進実施計画」の策定を検討していたが、大分バス株式会社（以下「大分バス」）と九州旅客鉄道株式会社（以下「JR九州」）が主体的に取り組み、事業者間連携が実現した。

当初の目的を達成できたことから、引き続き、地域旅客運送サービスの持続可能な提供の可能性について調査・検討を行うこととする。

【事業者間連携の取組】

- ・ R6. 9 包括連携協定締結 ※P2 以降に大分バスおよびJR九州のリリース資料添付
- ・ R6.10 大分バスダイヤ改正
(鉄道との接続性向上のため、大南団地線の時刻調整や相互の情報提供の充実化を実施)

2. 業務概要

- ・ 業務委託名 大分市地域公共交通利便増進実施計画策定検討業務委託
- ・ 委託事業者 日本工営株式会社
- ・ 履行期間 令和 6 年 7 月 10 日～令和 7 年 3 月 14 日

3. 業務内容

変更前	変更後
<u>鉄道との連携を踏まえた路線バスの見直し</u> 大南団地線における経由やダイヤの見直し等の具体的な計画を作成	<u>路線バスの見直し</u> エリアを 1 つ選定し、路線バスの系統やダイヤの再編の可能性について調査・検討を実施
<u>交通事業者間連携の支援及び調査検討</u> 大南団地線の沿線住民へ見直しに関する周知広報を実施	<u>交通事業者間の連携の支援及び調査</u> 大南団地線におけるダイヤ調整の効果について、交通系 IC カードの利用実績を用いて検証を実施
利便増進計画(案)の作成	(項目削除)

4. 今後の手続き

- ・ 国庫補助の変更届出
- ・ 日本工営(株)と業務委託変更契約を締結
(協議会財務規程第 9 条第 1 項に基づき、大分市へ委任)

以上

令和6年(2024年)9月24日

大分バス株式会社
九州旅客鉄道株式会社大分支社

大分バス株式会社と九州旅客鉄道株式会社の包括連携協定の締結について

大分バス株式会社(代表取締役社長:高寄和弘、以下「大分バス」)と九州旅客鉄道株式会社(執行役員大分支社長:久野和代、以下「JR九州」)は、下記のとおり、包括連携協定を締結することとなりました。

記

1 協定締結の目的

利便性の高い輸送サービスの実現を目指し、効果的な交通事業者の連携により、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて、協力して取り組みます。

2 連携事項

大分バスおよびJR九州は、以下の項目について、今後相互に情報や意見の交換を行い、実現に向けて連携し協力して取り組みます。

- (1) 公共交通の利用促進に関すること
- (2) 利用者の利便性の向上に関すること
- (3) 相互連携による輸送の最適化に関すること

3 協定・調印式

- (1) 日時 令和6年9月30日(月)18時00分
- (2) 場所 九州旅客鉄道株式会社 大分支社会議室
870-0831 大分県大分市要町1番1号
- (3) 式次第
 - ①協定内容説明
 - ②署名
- (4) 出席者
 - ①大分バス株式会社 代表取締役社長 高寄 和弘
 - ②九州旅客鉄道株式会社 執行役員大分支社長 久野 和代

以上

■ 列車とバスのアクセスの向上について

〈バス時刻の列車への接続調整〉

新たに坂ノ市駅および大分大学前駅に結節する一部のバスにおいて、極力列車に接続するよう時刻調整を行います。また、坂ノ市駅においては、佐賀関線のバスが駅ロータリーへの乗り入れを行います。

【対象バス路線(駅)】 佐賀関線 (坂ノ市駅)、大南団地線 (大分大学前駅)

■ 相互の情報提供の充実について

バス・列車相互の運行状況等の提供により、ストレスなく乗り継げる環境を整備します。

〈バス車内〉

バス車内の運賃表示モニターに、JR九州アプリ※を告知

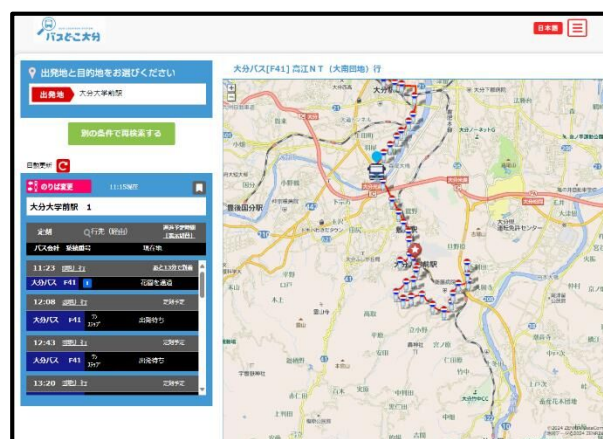
※JRアプリより運行状況の確認が可能

〈駅構内〉

坂ノ市駅および大分大学前駅の案内モニターにバスの接近情報等を表示



バス車内の運賃表示モニター表示イメージ



駅の案内モニター表示イメージ